

令和6年度 田原本町行政改革推進委員会 議事要旨

日時：令和6年10月25日（金）14時00分～15時10分

場所：田原本町役場3階 301・302 会議室

出席委員（敬称略）

小松原 尚（公立大学法人奈良県立大学 名誉教授）
杉岡 雅司（田原本町議会総務文教委員会 委員長）
酒井 茂広（田原本町農家代表者会 会長）
宮崎 公平（田原本町自治連合会 会長）
鋤田 芳嗣（田原本町社会福祉協議会 会長）
山岡 佐規子（田原本町地域婦人団体連絡協議会 会長）
中川 真治（株式会社南都銀行 田原本支店 支店長）
谷野 守弘（奈良中央信用金庫 専務理事）
北村 尚紀（公募委員）
工藤 華代（田原本町副町長）

欠席委員（敬称略）

吉川 眞司（田原本町商工会 会長）

事務局 町長 教育長 町長公室長 総務部長 住民環境部長 健康福祉部長
産業建設部長 教育部長 町長公室兼産業建設部参事
企画財政課長 企画財政課主幹 企画財政課政策企画統計係長

1. 開会

（事務局）

令和6年度田原本町行政改革推進委員会を開催する。

出席委員は10名で、田原本町行政改革推進委員会規則第5条第2項に規定する定足数に達しており、委員会は成立。欠席委員は1名。

（町長）

町長挨拶

2. 委員紹介

（事務局）

令和6年度の新委員紹介

(小松原委員長)

委員長挨拶

3. 議事

(小松原委員長)

委員長挨拶

議案第1号「第6次田原本町行政改革の取組状況報告」について事務局から説明を求める。

(事務局)

資料1：第6次田原本町行政改革実施計画書（令和4年度～令和8年度）と、

資料2：田原本町行政改革の取り組み状況について（令和5年度実績）について説明

(小松原委員長)

事務局からの説明に対し、ご意見・ご質問等を受ける。まずは大綱主要事項の1つ目、住民サービスの充実についてどうか。

(谷野委員)

資料1の3ページ「電子申請による受付業務」で、行政効果の目標が1,200件とある。もともとの母数はいくらなのか。

(総務部長)

全ての手続きのうち、29の手続きが電子申請できるようになっているが、まだまだ活用されていない現状である。申請はできる状態にあるが、今後、活用をしていただけるような形にもっていききたい。

そして、県で奈良スーパーアプリというものが構築され、今年から運用されている。この奈良スーパーアプリを市町村が運用できるように取り組んでいるところだが、市町村の業務に合っていないところがあるので、県と連携しながら考えていく必要がある。

(谷野委員)

申請の件数自体はどのくらいか。田原本町全体の申請が例えば1万件で、その1万件的うちの1,235件が電子申請なのか。それとも例えば10万件的うちの1,235件なのか。

(総務部長)

実際の数字が今手元にないため、そのあたりわかるようにさせていただきたい。

(※事務局追記：10,419件のうち1,235件)

電子申請で扱っている件数は、本当に少ない。

県の奈良スーパーアプリや、それとは違うアプリ等もあるため、検討していく。今後、電子申請が主流になってくると思われるので、住民が使いやすい申請環境を構築していきたい。

(谷野委員)

資料1の24ページの「広告掲載等による収入の確保」について。実績が75万1,000円とある。広告の単価はいくらか。

(町長公室長)

縦が59mm、横が87mmの1号という規格のサイズで、1万円である。

(谷野委員)

各家庭にくまなく配布されており、非常に有効である。

(中川委員)

4ページの「行政情報の発信・共有」について、LINEによる公式アカウント登録者数が伸びないとある。民間の我々南都銀行は、LINEで登録者数を広げたい時、登録していただいたらサービスのものを提供する取組をすることもあるが、登録者数を増やすために、能動的に何かしているか。

(町長公室長)

LINEについては、広報紙などでLINEコードやQRコード等を使って積極的な登録を呼びかけている。

(中川委員)

書かれている通り、LINEでの発信が頻繁すぎるとブロックされ、難しいところである。例えば、登録されている方向けに年1度、田原本の地元のを抽選で当てるなどだろうか。自治体でできるかどうかわからないが、登録すると何かプラスアルファのものがあつたほうが登録しやすと思う。

(小松原委員長)

大綱主要事項の2つ目、業務の効率・適正化について、ご意見・ご質問はあるか。

(北村委員)

資料1の12ページの唐古・鍵の道の駅と史跡公園の部分について。イベント件数の目標

が 45 回に対して実績が 32 回と下回っているが、行政効果の来場者数は目標を大きく上回っているという点が興味深い。土日のイベントが少ないように感じている。また、最近流行っているキッチンカーのイベントがとても来場者が多く、駐車場問題などがあり、交差点が渋滞してなかなか通れない問題も出てきている。

イベントの内容で個人的にこれは良いのではというものがあるので、担当の方と後ほどお話しできればと思っている。

(産業建設部長)

道の駅のイベント回数について、道の駅と史跡公園を合わせて 45 回と設定している。実績としては、令和 5 年度は 32 回であり、史跡公園で 20 回、道の駅で 12 回開催している。具体的な取組内容としては、道の駅で、5 周年のイベントを 4 月に開催し、奈良交通の 80 周年記念イベントを 7 月にした。また、11 月の秋に感謝祭などを実施した。

猿回しは、毎週ではないが、頻繁に土曜日や日曜日に実施されている。猿回しの回数をその都度カウントするとかなりの回数になるため、1 回とカウントしている。キッチンカーも 1 回とカウントしている。よって、数字上は少なく見える。その他に、じゃがいもなどの地域野菜の詰め放題イベントなども開催している。数字は目標値を下回ってしまっている状況だが、季節の特色を活かして、その都度、季節にあったイベントを開催している。

(小松原委員長)

北村委員にいろいろアイデアがあるとのことなので、柔軟に相互にいろいろ情報交換できると良い。その他ご質問はあるか。

(杉岡委員)

資料 1 の 13 ページの「田原本駅前広場の指定管理運営」について、活動指標で目標 4 回に対して、実績が 5 回となっている。令和 7 年まで先を見ても、目標が 4 回となっている。指定管理者である観光振興機構が主催されるイベントだと思われるが、少ないのではないかとと思うがどうか。

(産業建設部長)

指定管理者の活動に関する協議実績である。協議という場を持つのは一応目標 4 回とし、昨年度であれば実績 5 回となっている。実際のところは、電話連絡や、機構代表の方が役場にいられて会うたびに立ち話的なことも含めて行っているが、そういったものを協議とは数えていないため、少ない数になっている。

ただ、ご存じのように駅前広場の活用について、最初はキッチンカーを何度か呼んでいたが、ここしばらく十分に活用しきれていない実情もある。委員がおっしゃるように回数は少ないという認識もあるため、機構との連絡を密にして、協議を重ねながら連携をとって進め

ていく。

(杉岡委員)

確認だが、目標4回というのは、観光振興機構が主催する回数ということか。

(産業建設部長)

役場と、指定管理者である観光地振興機構の協議の回数である。

(杉岡委員)

キッチンカーなどに場所を提供したといったことは、この回数の中には入ってこないのだと思うが、もう少し回数を増やしてほしいと思う。広場のにぎわいを創出するという意味で、少しでもにぎやかさを出すためにイベント回数を増やしていただきたい。

(産業建設部長)

ここの4回というのは、あくまでも協議の回数であり、イベントの回数ではない。観光振興機構と役場が対面で行う正式な打合せの協議の回数を設定している。

駅前については、キッチンカーやマルシェなどを開催しているが、十分活用しきれてない現状もあるため、イベント開催についても機構と話し合っていきたい。

(小松原委員長)

大綱主要事項の3つ目、持続可能な財政運営について、ご意見・ご質問はあるか。

目標達成ができていない項目もあるが、ある意味では、次の目標を設定して新たに取り組むための非常に重要なヒントである。

(杉岡委員)

資料1の23ページの「ふるさと応援寄附推進事業」について、毎年1億円という目標を掲げていたが、令和6年以降7,000万円、8,000万円、9,000万円となっている。いつから1億円だったのか記憶にないが、なぜ下がったか。実績が4,000万円、5,000万円という金額で推移しているから、1億円にはほど遠いということかなと理解しているが、前町長は1億円を掲げて、目標は高く持ち、そこに近づけるように頑張りますとおっしゃっていた。

(産業建設部長)

令和5年度までは目標値1億円を掲げていた。目標値として令和6年度の予算は3,000万円下げて7,000万とした。実績が、令和2年度から3,600万、4,300万、5,500万と右肩上がりではあるが、委員のおっしゃるように、目標値と実績値の金額の開きが大きい。現実を見て、目標を設定した。ただ、気持ちの上では、当初のように1億円目標ということは思っ

ている。私も含めて地域産業推進課職員、目標は高く持っている。そのために返礼品の充実や、年末に向けて購入していただくサイトを見ていただくための取り組みなど、今年度も努力している。金額に関しては、現実的な数字に一旦したという経緯である。しかし、毎年毎年、目標を1,000万円ずつ上げているので、頑張っていきたい。

(山岡委員)

14 ページの図書館のカウンター業務の管理運営について、自動貸し出し機の利用率の実績が35%とある。10人中3人ぐらいは自動貸出機を使っていることになる。自動貸出機は、過去に2台あり、現在1台だけになっていると思うが、利用率が結構高いと思うので、実際の貸し出し数がわかるなら教えて欲しい。

(教育部長)

図書館の窓口業務のカウンター業務の管理運営について、民間委託の検討を進めている。自動貸出機は、確認しないとわからないが、2台あったと記憶している。

自動貸出機を使用していただくことで、窓口の人の業務は少なくなるので、できる限り自動貸出機を使っただけのように案内をし、窓口にかかる人件費を抑える取り組みを進めている。それとともに、民間委託についても検討はしている。しかし、資料に書いてあるように民間企業から見積もりをもらうと、今の図書館の窓口にかかっている人件費が約1,200万円に対し、1,700万円ほどであり、民間委託にすると、費用が少し上がる。ただ、上がっても、より充実した窓口業務を行うことができれば良いが、そこに至らないのであれば、お金を使うだけで意味がないため、窓口を民間委託するのが良いかどうか考えているところである。

自動貸出機で何冊使われているかについては、手元に資料がないため申し訳ない。

(※事務局追記：貸し出し数は133,300冊)

(山岡委員)

今、部長がおっしゃったように、過去においても、この話はかなりあったと思う。窓口業務を委託して、職員は何をするのかというとレファレンスや選書に関わるような活動をするということで、試算も何回も行っていると思う。当然委託した方が高くつくというような結論が出ているように思うが、何回もこの行革にこういうことが出てきている。現状がどうなのかわからないが、職員の数も減ってきており、会計年度任用職員というアルバイトのような方が窓口によくおられるように思う。

自動貸出機は、こどもの方にもあるということか。もしそうだとしたら大人の方に2台あったのが1つは閉鎖されている。よって、自動貸出機を職員の代わりにするような考え方でたくさん置いていたのを、おそらく財政的な事情であろうが、それを削っているということと思われる。

自動貸出機だと、冊数が多くなるか、期間が延びるか、何かそういった取り組みを以前にされていて、工夫して上手に自動貸出機の方に誘導しているなど思っていた。

部長がおっしゃったように、令和6年度、この検討をされている段階だと思う。これからまだ業者選定ということも書かれている。よって費用対効果がどうなのかを十分検討していただきたい。あまり業者委託が良いとは思えない。

(小松原委員長)

機械の稼働率の問題というよりは、図書館の命であるレファレンスサービスをどのように充実させるか。スタッフがその事務的な仕事から解放され、レファレンスサービスに集中するためにはどうしたら良いかと。最低限レファレンスサービスを充実するためには、外注した場合には1,700万円は常識ですと。レファレンスサービスを充実させるために、機械化できる部分はしっかりと機械化されてほしいというご意見である。

(山岡委員)

そうである。貸し出しだけをする場合は、機械化で十分できる。ただ、職員が窓口に出ないと、充実したレファレンスサービスはできないと思う。住民の方のご意見や日頃いろいろな相談を、窓口に出て行ってこそ、受けることができる。奥に引っ込んでいては、なかなかそういう住民の考え方やご意見をくみ上げることは難しい。よって、窓口を全面的に委託するという考え方は少しどうかな思っている。

(小松原委員長)

その他、全体を通して何かご意見・ご質問はあるか。

(鍬田委員)

資料2において、体育施設の指定管理と使用料・手数料等見直しが、達成率0%になっている。この体育施設の指定管理は、問題点もあるかと思う。私の希望のようなものだが、令和13年に国民スポーツ大会が実施されるときに、田原本町で何かの競技を誘致をしていただきたい。誘致する場合に、指定管理が悪いというのではなく、マイナスにならないようにしてほしい。何年か前の国民体育大会は、田原本町はバドミントン競技が誘致された。次の国民スポーツ大会でも、田原本町で誘致する競技を住民に浸透できるように図っていただきたい。

使用料手数料について。今日も周りを見たら扇風機をまわしていただいているが、聞いたところでは空調の機械が壊れているとのこと。施設の使用料は空調料と一緒にいると思う。今日も夏日になるような気候であり、電気代もすごく高騰している中で、空調料と部屋の使用料を分けて、住民に負担をしていただくことで、金額的にはしれているが、少しでも行財政改革になるかと思うがどうか。

(町長公室参事)

委員からのご指摘の通り、現状、見直しが十分進められていないという状況である。当然早めに、取り組んでいく。

今いただいたご意見は大変参考になる。特に、昨今の電気代の高騰などがあり、それらをタイムリーに反映させることも必要になってくるかと思う。建物の維持管理そのものにかかる部分も、使用料としているが、電気代など光熱水費についておっしゃったように分けて徴収するというのも1つの方法と考える。その辺りも含めて検討していく。

(小松原委員長)

本日の議事はすべて終了。

ご意見等について事務局で調整し、回答がまだの部分については回答いただくこととする。

今回のご意見等も踏まえた効果的・効率的な行政運営となるよう実施計画事業の取り組みをお願いします。

円滑な議事進行へのご協力、活発なご意見をいただいたことへの御礼。進行を事務局にお返しする。

4. 閉会

(事務局)

小松原委員長の議事進行に対する御礼。

委員会の終了に当たり、町長より一言申し上げる。

(町長)

様々なご意見をいただき感謝する。

効果的かつ効率的というのが行革で一種求められているところであるので、お金がかかってもサービスが上がるのであればよしという判断もある。それはまさに効果的かつ効率的な行政の実現という面でこれからもご意見をいただき、踏まえながら進めていきたい。

いくつか個別にコメントする。オンライン申請については今まさに過渡期である。間違はなく町としては進めていかないといけない。その基盤となる奈良スーパーアプリがあり、参加する自治体は自由に参加するものを、奈良県が昨年度に開発し、今年の4月から運用している。しかし、非常に使い勝手が悪いところもあり、これに乗っていった良いのかと思案をしているところである。ただ、アプリ自体の思想は素晴らしく、1つのアプリの中で電子申請もでき、田原本町内にある施設の予約もでき、地域通貨のようなものを発行できる。住民からすると、1つで完結するという発想自体は本当に素晴らしいものだと思う。できれば、それに乗っていききたいという思いがある一方で、住民側から見たときにすごく不便だった

り、或いは行政側から不便だったりするところもあるので、改善状況を見ているところである。それが整い次第、本当にすぐにでもやりたいぐらいの気持ちがある。例えば、一時預かり保育は、今は1ヶ月前に予約をしないといけないが、オンライン環境を整えば、前日や前々日に予約ができる未来があるのではと思う。今、電子申請が1,000件程度というのは、おそらく分母は数万件あると思うが、それしかできていない状況であるので、しっかりと進めていき、利便性を前面に出していきたいと思う。

LINE登録のインセンティブについて。広報紙ではやったことがある。広報紙を見ていただいて、アンケートを答えていただいたら、インセンティブを付けていた。よって、LINE登録をいただいて年に1回でもインセンティブ措置をするのは十分にできることだと思うので、広報紙と同じような形で、我々の情報発信を受け入れてくれる登録を増やしていきたい。

道の駅については、また個別の話でもぜひご提案いただけるとありがたい。

駅前活性化については、今年新しいプロジェクトチームを作り、かつ、住民の方々に入っただいて、駅東側或いは駅前周辺をどうしていくかを考えていきたい。やどかり市等々を住民主導でやってくださっているが、それらも含めて、今後のあり方をチームを作って進めていきたい。

図書館・体育館の指定管理については、先ほどの議論の通りだと思う。費用対効果の面で、お金がかかってもサービスが充実するのであれば、それは良しという判断もあり得るかと思う。行政が優れていて、民が劣っていると私は決して思っていないので、そこは住民目線で最終的な意思決定をしていかなければいけないと思っている。

国体については、国体の協議会の中では、田原本はバレーとサッカーで決定をいただいている。最終決定はまだだが、中央体育館でバレー、法貴寺のフットボールセンターでサッカーということで国体会場になる予定である。

使用料については、例えば以前の町民ホールについても、空調と使用料で別々で取っていたので、そういったところも含めて考えていかなければいけない。

個別のコメントについては以上である。1時間超にわたりご審議いただき、感謝する。

(事務局)

改めて委員には貴重なご意見をいただき、御礼申し上げます。

これをもって、委員会終了。